

## 国民平和大行進

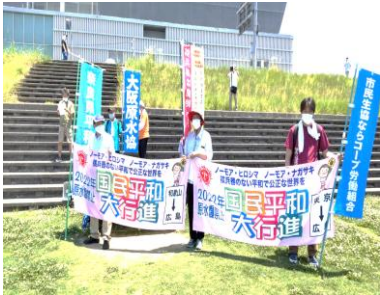
6月30日午前11時45分から  
柏原市役所前・大和川河川敷に  
おいて奈良から大阪への202  
2年国民平和大行進の引継ぎ集  
会(写真)が120人の参加で実  
施されました。

この集会には、大阪平和委員  
会から上羽事務局長と吉田一江  
事務局次長の二人が「大阪平和  
委員会」の幟をもって参加しま  
した。

集会後、80人が様々な団体・  
組織の幟をもって八尾市役所ま  
で歩きました。ロシアによるウ  
クライナへの侵略が開始されて  
4カ月以上経過し、ウクライナ  
への連帯を表すためウクライナ  
のミニ国旗を身に着けた女性が  
いました。

小学校の横を通った際には、  
校庭から小学生が手を振ってく  
れました。

7月7日までの8日間、「日本  
政府は核兵器禁止条約への署名  
・批准を!」「核兵器の廃絶  
を!」「ロシアはウクライナへの  
侵略を止めよ」と訴えながら兵  
庫県への引継ぎまで大阪での行  
進が続きました。



## 全国大会仲間づくり表彰

6月初の全国大会で大阪は仲  
間づくりで下記の通り数々の部  
門で表彰されました。

◇都道府県部門  
「平和運動」誌読者―実増ベス  
ト1(12部)

◇地区・基礎組織部門  
会員―新たに実増で会員10人  
以上の仲間を迎えた都島(21人)、  
平和新聞―新たに実増で5人  
以上の購読者を迎えた堺(7人)

◇個人部門  
・会員(10人以上) 上野ときこ  
(都島)22人、上羽治雄18人  
・会員(5人以上) 近藤正(旭  
区)9人、竹中三子(都島)6  
人、長谷川孝子、黒田安彦(と  
もに東住吉)5人

・平和新聞・「平和運動」誌  
あわせて10部以上 上羽33部  
5部以上 上野ときこ6部 亀  
井明子(堺)・黒田安彦(東住吉)  
5部

◆機関紙コンクール―地域版  
優秀賞 八尾平和委員会、努力  
賞 旭区、西淀川、東住吉  
、天王寺  
◆ホームページ部門  
優秀賞 大阪平和委員会

## 各地で「平和の波」行動

6月29日、30日の日程で、ス  
ペイン・マドリッドで行われる  
NATO首脳会談の前に、IP  
B(国際平和ビューロー)などか  
ら呼びかけられた「24時間平和  
の波―軍事化ノー、協力イエス」



に呼応した日本での行動が6月  
26日正午〜13時「ロシアは侵略  
止めよ、国連憲章守れ、核兵器使  
うな・なくせ、岸田政権の改憲・  
軍事同盟強化ノー!」をスロー  
ガンに各地で取り组まれました。  
東京・有楽町では、日本原水  
協と日本平和委員会が共同で、  
街頭宣伝に取り組みました。高  
草木原水協代表理事、千坂日平  
事務局長、長谷部沖繩の会協同  
代表がスピーチ。各スピーチの  
要旨が同時通訳で発信され、今  
回の行動の司会のデービッド・  
スワンソンさん(戦争を超えた  
世界)、フィリピンのコラソン  
さん、オーストラリアの反核運  
動などから、「素晴らしい行動  
に感謝」とのコメントが寄せら  
れたそうです。

今日から18日間の熱い戦いが  
繰り広げられます。

参院選の最中ですが、岡山、  
愛知、長崎、静岡、静岡・藤  
枝、大阪・西淀川(左写真)、東  
大阪(右下写真)、栃木などでも  
取り组まれました。

6月に記録的な猛暑となつて  
いますが、体調等に配慮しつつ



## 安倍元首相銃撃に抗議

音の出る行動を組んでいきまし  
よう。  
(日本平和委員会ニュースより)

日本平和委員会は、7月8日  
に起きた安倍元首相への銃撃事  
件に対し、これに抗議する声明  
を発表しました。

安倍元首相に対する凶弾事件  
に満身の怒りを込めて抗議する  
――いかなるテロも自由・民主  
主義と相容れない――  
2022年7月8日

日本平和委員会

本日、11時過ぎ、奈良市で街  
頭演説中の安倍元首相が銃撃を  
受け、重体となっていると伝え  
られている。このようなテロ行  
為は、いかなる理由によつて  
も、絶対に許されない。それは  
日本国憲法に保障された自由と  
民主主義を根本から破壊するも  
のである。私たちは、参議院選  
挙という最も言論の自由が保障  
されなければならぬ活動の最  
中に引き起こされたこの蛮行  
に、満身の怒りを込めて抗議す  
る。

私たちは、このようなテロ行  
為が二度とくりかえされず、憲  
法に保障された自由と民主主義  
を守り抜く社会を築くために、  
今後とも全力を挙げて奮闘する  
決意を表明するものである。

## 自衛官募集名簿提供に抗議

吹田平和委員会は6月13日  
付で後藤圭二吹田市長に対し  
岸田宗春吹田平和委員会会長  
名で次のような抗議・要請文  
を送付しました。「この度、  
自衛官等の募集について吹田  
市内に住民登録している令和  
4年度に18歳と22歳になる人  
について、吹田市が名簿提供  
したことに抗議します。  
：自衛官募集事務に関する名  
簿提供は即時中止するよう要  
請いたします」

また6月17日には緊急市民  
学習会を開催しました。

## 「中学生から知りたいウクライナのこと」

小山哲・藤原辰史著 (ミシマ社)

「日本はすでにウクライナで起こっている  
ことの当事者である、ということ。ロシア  
への制裁に加わったことによって、ロシア  
からは非友好国と認定されました。今後  
小麦や原油をはじめ生活必需品の価格もあ  
がるでしょう。インターネットで世界と接  
続している日本もサイバー攻撃から逃れ  
られません…」



### 「みっちゃんの戦争」を「毎日」ひと欄が大きく紹介

毎日新聞6月29日朝刊の20面の「ひと」欄に戦争体験の絵本を出した竹中三子さん(83歳、都島の会員)に関する記事が大きく掲載されました。

「語り部減少に焦り」、「形に残し記憶伝える」との見出しと本人紹介と共に、次のような記事が掲げられています。

―太平洋戦争中の1945年、大阪の街を襲った大阪大空襲の記憶をつづった絵本「みっちゃんの戦争」(絵・おかねともこ)を出版した。絵本は長年の友人で、「都島平和の会」の上野登喜子会長に提案され、2年前に原稿を書き始めた。半年ほど書き上げ、大空襲で母親と都島工業高校の地下室に逃げ込んだこと、小学校の校庭に爆弾の衝撃でできた「ばくだん池」を土を運んで埋めたことなどを盛り込んだ。絵本の印刷が始まり、数日が経過した今年2月24日 ロシア軍によるウクライナ侵攻が始まった。街中が襲撃される映像を目の当たりにして言葉を失った。



「いつでも被害に遭うのは国民で、どこであっても戦争は絶対にしてはならない。あんな戦争は二度とごめん。若い人たちはすこしでも平和や戦争のことに関心を持ってほしい」と力をこめた。

戦争体験の絵本を出した竹中三子さん(83歳) 大阪市都島区(現都島区)善源寺町生まれ。高校を卒業後、医療機器や製本会社に勤めた。新日本婦人の会、都島平和の会会員。趣味の民謡は約30年続けており、現在も月2回のレッスンを欠かさない。70歳を超えてからウクレレも始めた。写真(左上)は4月22日「みっちゃんの戦争」出版を祝う会で挨拶する竹中さん。

### 流弾事件に抗議

―沖縄・金武町での米軍からとみられる流弾事件に断固抗議し、演習の即時中止、実弾射撃訓練場の撤去を求める―

2022年7月8日  
日本平和委員会

7月7日午後、沖縄県金武町伊芸区の民家の窓ガラスが割れ、銃弾のようなものが発見され、付近の米軍射撃訓練場からの流弾である疑いが強まっている。現場は伊芸公民館近くの住宅街で、直線距離で約330メートル

離れたところに米軍キャンプ・ハルセンがあり、米軍からは4〜10日の深夜を含む終日、実弾射撃訓練をするとの連絡が入っていた。地元自治会への演習通報には、実弾射撃訓練場「レンジ」が16カ所示されていたが、米軍は基地内のレンジの総数や詳しい位置を明らかにしていない(沖縄タイムス7月8日)。

伊芸区では、1956年から2008年までに42件の流弾事件が繰り返されてきた(琉球新報7月8日)。伊芸地区住民は、04年、実弾射撃訓練場レンジ4への都市型戦闘訓練施設の建設計画に区民ぐるみの抗議行動を展開し、実弾射撃が始まった05年には施設撤去を求める県民集会を開催。レンジ3での小銃用の射撃場建設にも町議会が抗議決議を採択し、完成後お8年には町が即時撤去を求めている。このように、地元住民は、かねてより同基地での実弾射撃訓練中止を求めてきたのである。

2008年には、民家の駐車場の車から米軍の銃弾が発見され、その前後に基地内で射撃訓練をしていたことが明らかになった。しかし、県警の基地内立ち入り調査に米軍の同意が得られたのは約1年後で、訓練との関連は特定できず、容疑者不詳のまま事件を地検に送り、捜査を終えるという事態も生まれている。

かかる事態を踏まえ、私たちは、①米軍基地内への立ち入り調査も含め、政府は事件の真相究明を徹底的に行うべきである。②キャンプ・ハンセンでの実弾射撃訓練を

ただちに中止し、伊芸地区周辺の実弾射撃訓練施設を全面的に撤去すべきである。③日米地位協定を抜本的に改定し、国内法を原則として米軍にも適用させ、基地内への自治体職員などの迅速な立ち入りを保証させるべきである。以上の点を求めるものである。

### 辰巳孝太郎さん挨拶に

7月11日、午前10時半頃、前日投票の参院選大阪選挙区で惜しくも議席奪還ならなかった辰巳孝太郎さんが、渡部結さんと一緒に大阪平和委員会事務所に挨拶に来てくれました。大阪平和委員会、原水協らの役員が辰巳さんの労をねぎらうとともに、今後の奮闘を誓いありました。



### ロシア総領事館抗議案内

ロシア軍が国際人道法を無視して、ウクライナの国土への軍事侵攻を開始してから4カ月経過。ウクライナの「人口の約4分の1が難民や国内避難民となっている状況」(岩波「世界」臨時増刊117頁)



となつています。

大阪平和委員会は、ウクライナへの武力侵攻と市民の殺戮に抗議し即時中止を求めるため、6月14日午後2時から2時30分まで豊中にある在大阪ロシア総領事館前で6回目のスタンディング行動を実施しました。小雨の中でしたが15人がこの行動に参加しました。

次のロシア総領事館前での抗議のスタンディング行動は7月28日午前11時から30分間実施されます。「朝日新聞」の記者から取材要請がありました。多数のご参加を。

### 【8月の行事案内】

- 1日(月) NPT再検討会議(～26日)
- 4日(木) 原水爆禁止世界大会・広島(～6日)
- 6日(土) 平和の鐘つき 8:15 妙徳寺
- 9日(火) ナガサキデー集会視聴会  
10:30～ たかつガーデン・たかつ西
- 15日(月) 赤紙くばり 12:00 ナンバ高島屋前
- 17日(水) 大阪安保常幹 10:00 民医連会議室
- 19日(金) 「19の日」宣伝 12:30 JR京橋駅前
- 25日(木) 沖縄県知事選告示